

# 静岡県の健診データの実態

健康課題を明確にして、静岡県の生活習慣病予防対策に役立てるため、平成 20 年度に引き続き、「平成 21 年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」を作成しました。報告書では、検査項目別平均値、異常者等該当率、標準化該当比を算出し、グラフ化及びマップ化を行いました。

## 健診受診者数

### ■40 歳以上 75 歳未満の約 27 万人の特定健診データを集計分析しました。

静岡県内の市町国保及び国保組合、共済組合に加入し、平成 21 年度特定健診を受診した者（40 歳以上 75 歳未満）の健診データ 267,599 人（国保 222,628 人、共済 44,971 人）を分析対象としました。

図 1 健診受診者の割合（男性）

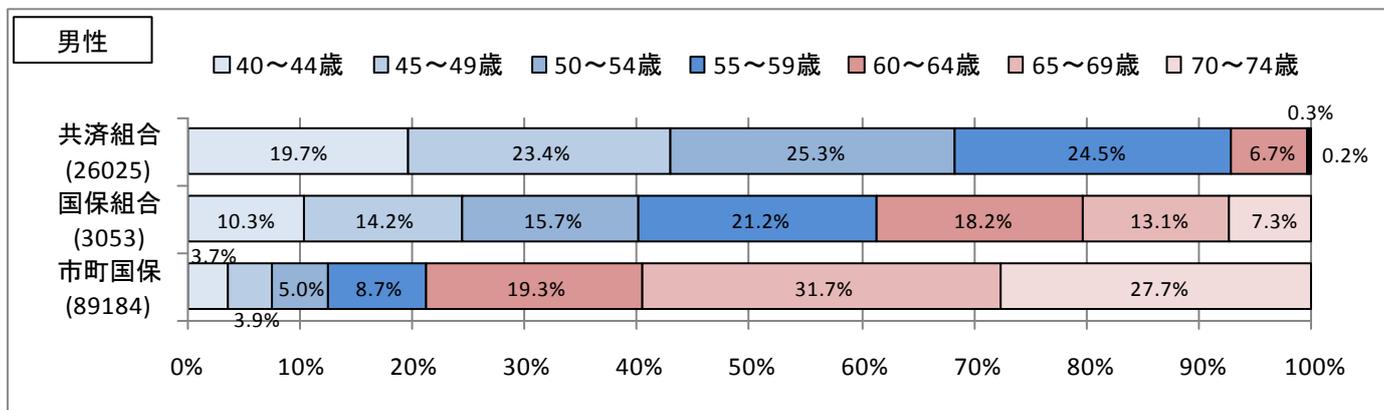
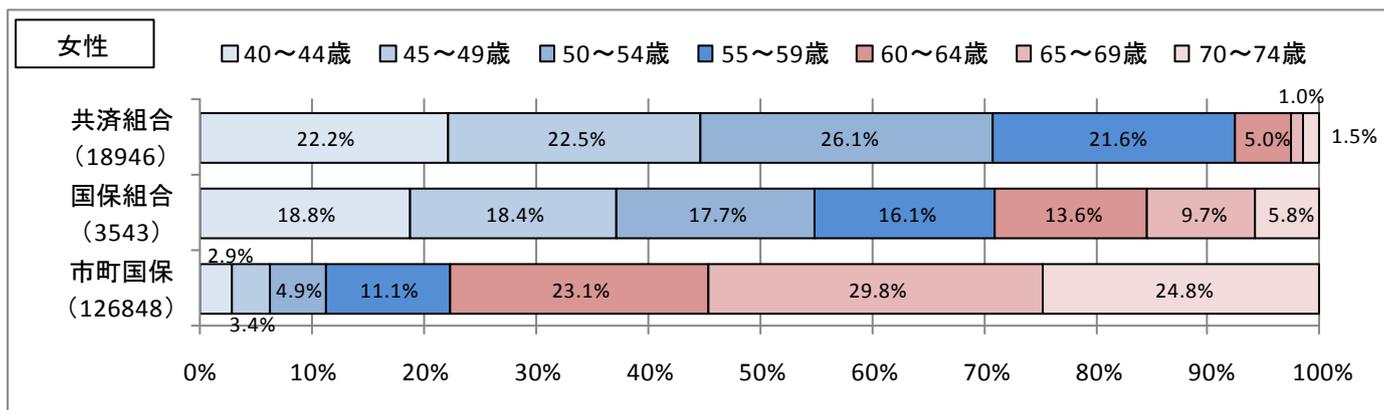


図 2 健診受診者の割合（女性）

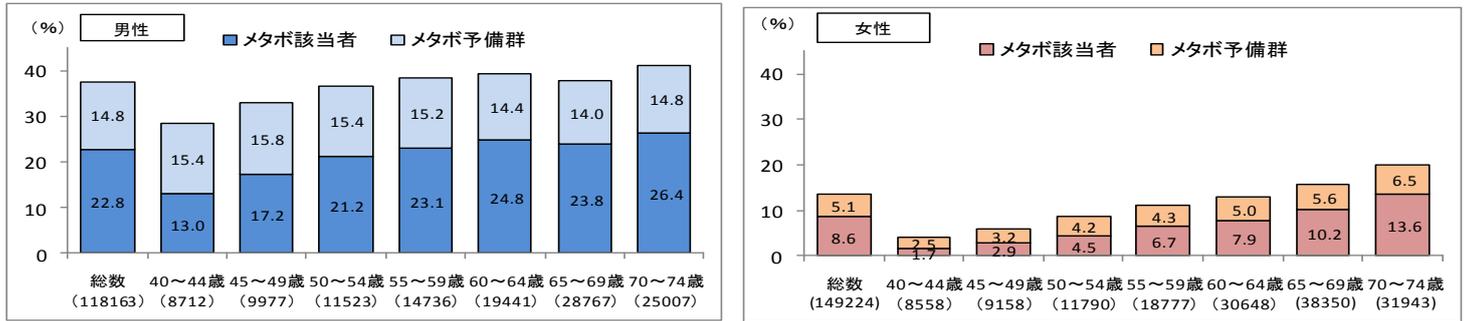


健診を受診した者を年齢階級別にみると、男女とも、共済組合は約 9 割が 60 歳未満であるのに対し、市町国保は約 8 割が 60 歳以上でした。

**■メタボリックシンドローム該当者は、年齢とともに増加しています。**

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）該当者又は予備群の割合は、男性 37.6%、女性 13.7%と、男性の約 3 人に 1 人、女性の約 7 人に 1 人でした。

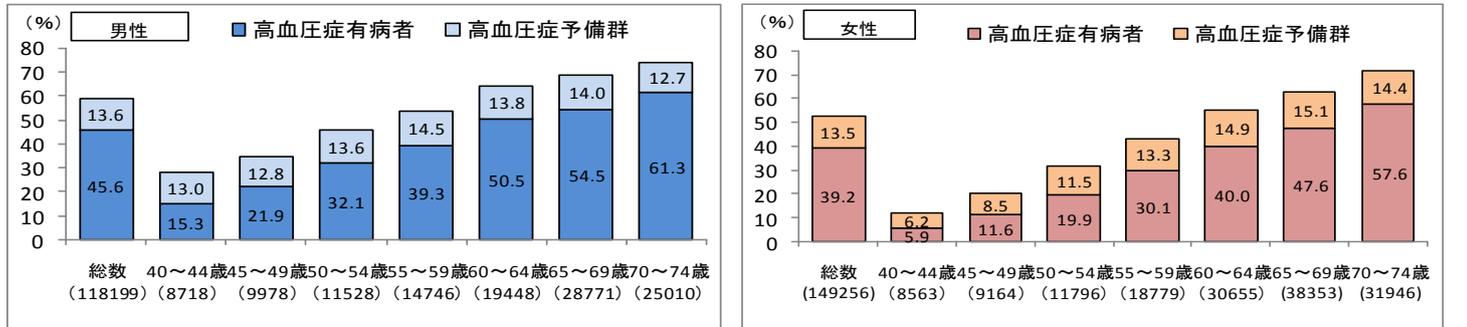
図 3 メタボリックシンドローム該当者及び予備群



**■高血圧症有病者は、年齢とともに増加しています。**

高血圧症の有病者又は予備群の割合は、男性 59.2%、女性 52.7%と、約 2 人に 1 人でした。

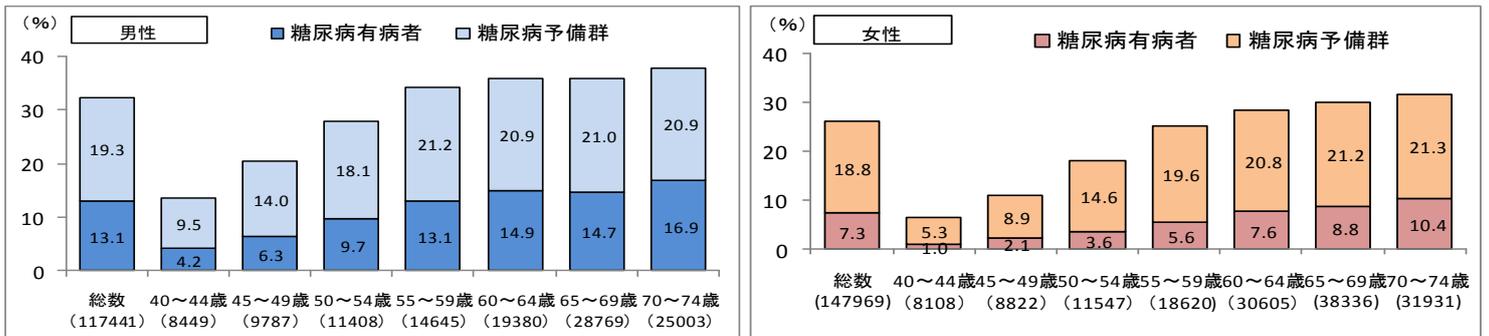
図 4 高血圧症有病者及び予備群



**■糖尿病有病者は、年齢とともに増加しています。**

糖尿病の有病者又は予備群の割合は、男性 32.4%、女性 26.1%と、男性の約 3 人に 1 人、女性の約 4 人に 1 人でした。

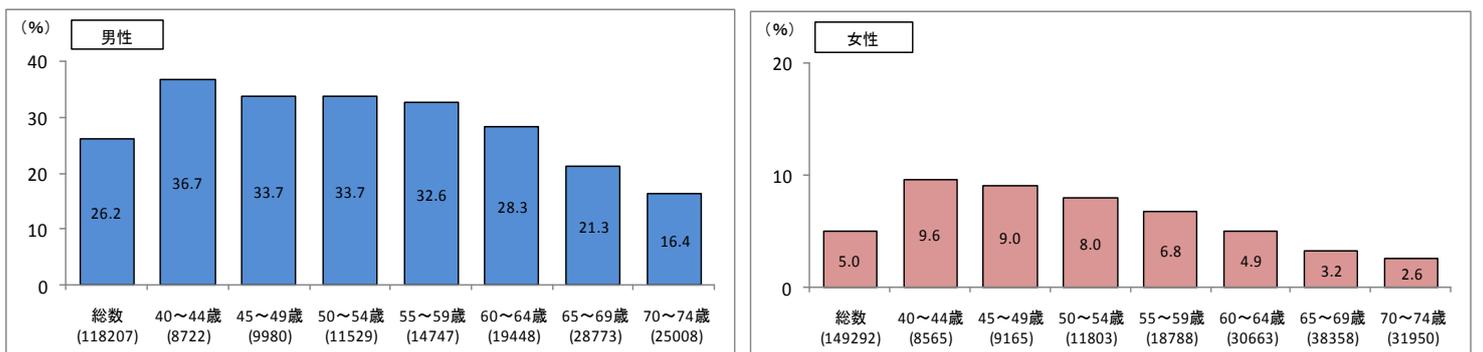
図 5 糖尿病有病者及び予備群



**■習慣的に喫煙している者は、年齢とともに減少しています。**

習慣的に喫煙している者の割合は、男性 26.2%、女性 5.0%と、男性の約 4 人に 1 人、女性の約 20 人に 1 人でした。

図 6 習慣的喫煙者



**■メタボリックシンドロームの該当者は、ほぼ横ばい。**

メタボリックシンドロームの該当者や、高血圧症有病者、脂質異常症有病者、糖尿病有病者の年齢階級の割合は、20年度と比較して、21年度はほぼ横ばいでした。

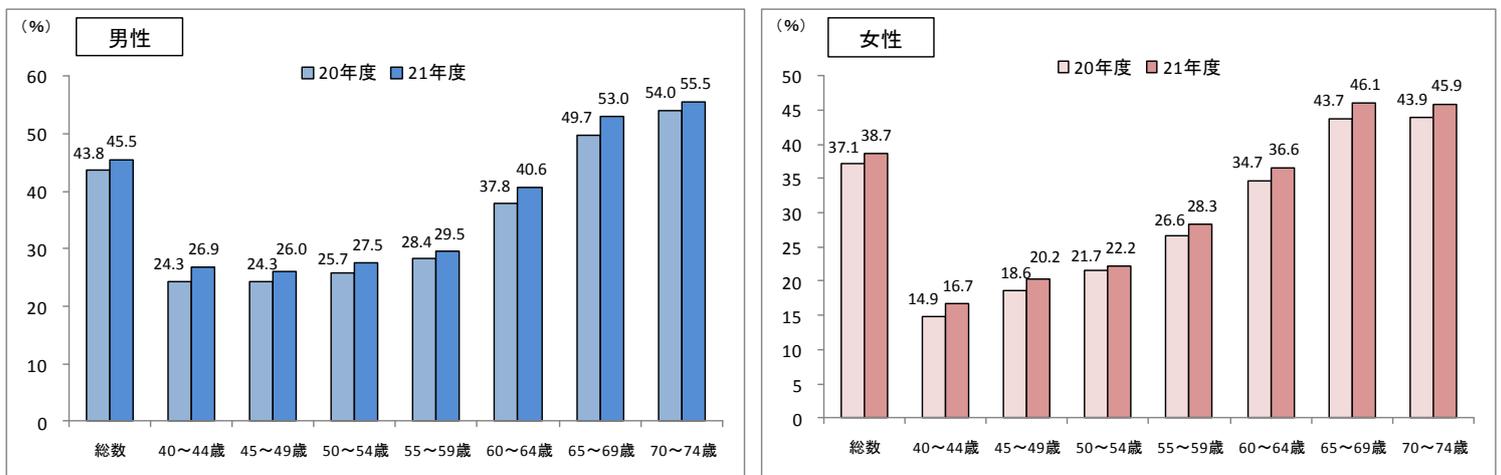
**■習慣的喫煙者は、男女とも減少。**

習慣的喫煙者は、男女とも、20年度と比較して21年度はほとんどの年齢階級で減少しました。

**■運動習慣のある者や、身体活動を実施している者は、男女とも増加。**

運動習慣のある者（1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施）の割合や、歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施している者の割合は、20年度と比較して21年度はほとんどの年齢階級で高くなりました。

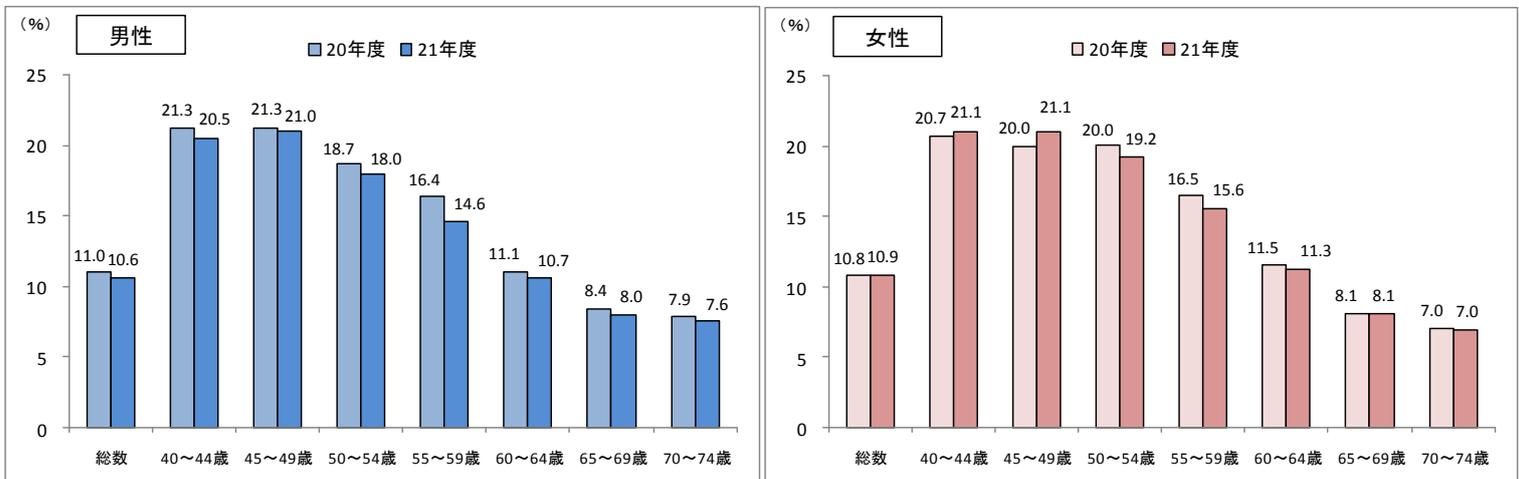
図7 運動習慣のある者の年度比較



**■男性は、食べる速度、夕食時間や夕食後の間食など 食行動が改善傾向。**

男性は、人と比較して食べる速度が速い、就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある、夕食後に間食をとることが週に3回以上ある、と回答した者は減少しました。女性では、あまり変化がみられませんでした。飲酒、睡眠に関しては、男女とも、ほとんど変化がみられませんでした。

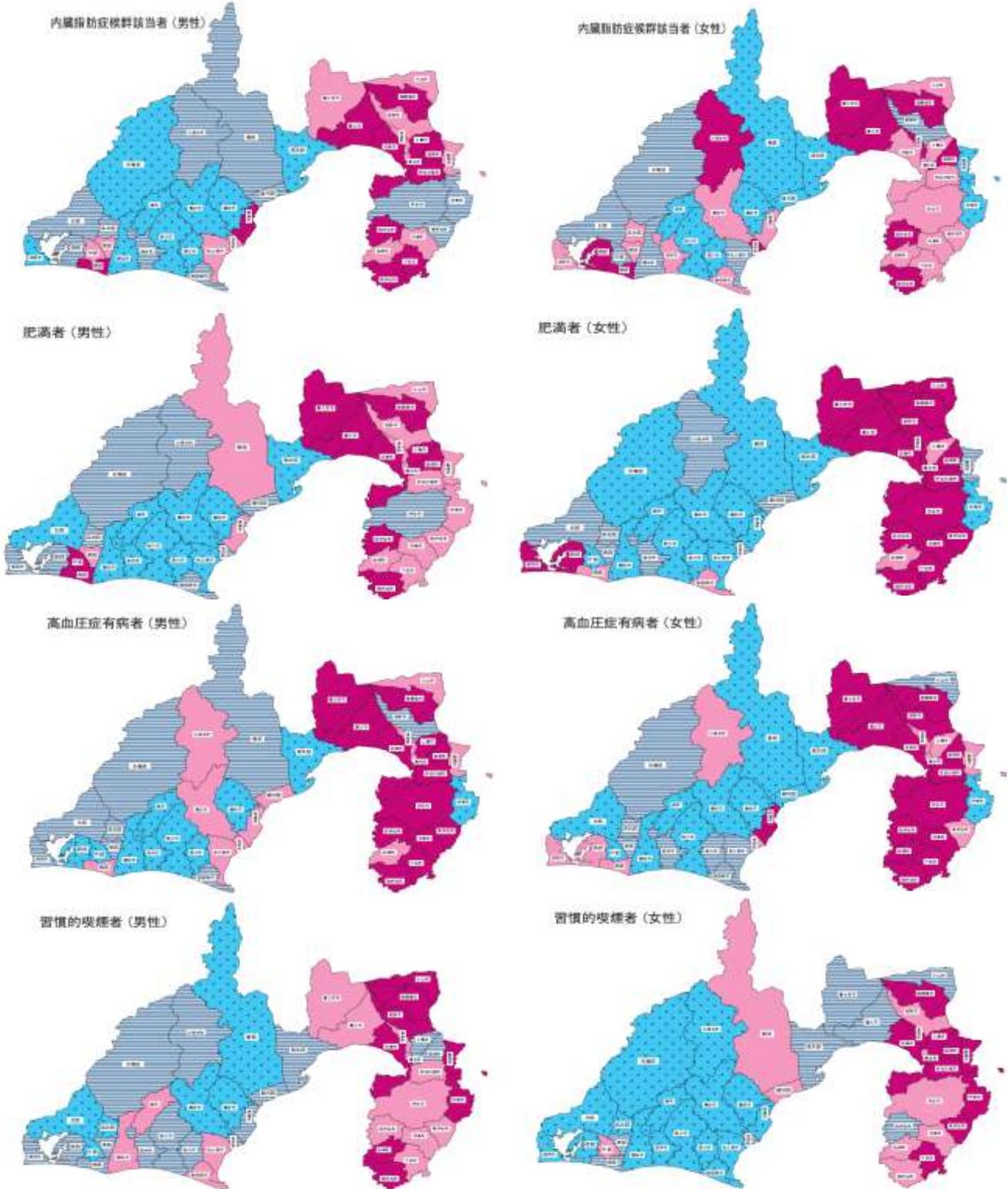
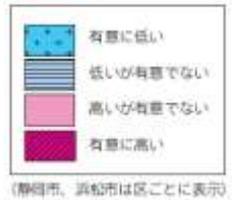
図8 夕食後に間食をとることが週に3回以上ある者の年度比較



標準化該当比（市町国保のみ）

■**メタボリックシンドローム、肥満、高血圧症有病者、習慣的喫煙者は、男女とも県東部地域が高い。**

※ 標準化該当比とは、各地域の年齢構成の違いを調整した値。県の基準を 100 とし、A 地域の標準化該当比が 100 より大きければ高く、100 より小さければ低いと表す。



平成 21 年度特定健診・特定保健指導に係る健診データ報告書（平成 23 年 3 月発行）

発行：静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課

編集：静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課総合健康班（静岡県総合健康センター）

ホームページ：<http://www.sukoyaka.or.jp/sougou-center/index.html>

アドバイザー：浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島俊之（静岡県総合健康センター研究顧問）